

第15回 日本在宅医学会大会 プログラム別 詳細情報

カテゴリー	ワークショップ
タイトル	行列のできる在宅相談所多職種連携向けグループワーク
日時	平成 25 年 3 月 31 日 13 : 30～15 : 30
会場	多目的室
演者	オレンジホームケアクリニック 紅谷 浩之先生
企画趣旨	<p>在宅医療には医師・訪問看護師・ケアマネジャー・薬剤師など多くの専門職が関わっており、よりよいケアを提供するために多職種連携は欠かせません。しかし、それぞれの専門職の動きや考え方を互いに把握することは難しいのが現状です。みなさんも日々のケアの中で連携の難しさを実感されているのではないのでしょうか。</p> <p>その多職種連携をスムーズにするためには、まず顔の見える関係を作ること。そのためには、同じ場で同じテーマについて実際に考えてみるのが、効果的です。このワークショップでは、劇団による在宅の現場実演に対して、多職種が実際にチームを組んで場面ごとにカンファレンスを進めていく、というスタイルで「専門職連携教育 (Interprofessional Education; IPE)」を行います。</p> <p>気づきや学びが、参加者によって作られていく、新感覚の研修スタイルをぜひ体験してください。今回は学会ワークショップとしての特別開催のため、ショートバージョンですが、全国でも展開していただけるように構成なども工夫しています。どうぞご期待ください。</p> <p>【在宅医療 虎の穴】とは？</p> <p>オレンジホームケアクリニックは、福井県福井市で在宅医療とまちづくりに取り組んでおり、地域の連携力強化のために【在宅医療 虎の穴】シリーズと呼ぶ多職種連携勉強会を開催しています。</p> <p>在宅医療入門の STEP1、職種別に専門力を高める STEP2、多職種で連携を高める STEP3 の 3 段階に分けて、様々なテーマと演出をちりばめた勉強会を毎月展開しています。</p> <p>そのスタイルは、グループワークを基本として、劇団演劇による参加型の事例紹介、KJ 法による課題抽出、BPS 分析 (患者を取り巻く課題を身体的・精神的・社会的に分類して整理)、オピオイドローテーション、看取りへのプロセス、各職種のプロフェッショナル (鉄人) による模擬カンファレンス、iPhone アプリや簡易懸濁法の体験と教育実践など、多種多様にわたっています。それらに加えて、チームのモチベーションを高める演出も凝らしており、顔の見える関係を生み出す「参加者同士の化学反応」は毎回好評で、大学や職種団体、他県の医療機関などからも研修依頼が来るなど、どんどん拡大しています。</p>